

# 定期観閲式・功労者表彰式

4月22日、東通村体育館駐車場において、平成30年度東通村消防団（団長・上路政光）の定期観閲式が挙行されました。当日は上路団長以下、村内20分団の314名の団員に加え、特別参加の防衛装備庁下北試験場消防隊が、越善靖夫村長の観閲を受けました。

式では上路団長による現況報告に続いて通常点検、新消防ポンプ自動車紹介、纏振り演技、ポンプ操法、放水演習、分列行進等が行われました。



観閲する越善村長

纏振り演技では、纏組が迫力のある勇壮な演技を見せ、ポンプ操法では小型ポンプや自動車ポンプのホースを担ぎながら、素早い動作で移動・接続し、訓練の成果を披露していました。続いて放水演習では、全分団のポンプ自動車が一斉に勢いよく大空に向けて放水を行い、来場者たちはその迫力に驚いていました。

また、恒例となった「こども園ひがしどおり幼年消防クラブ」によるアトラクションでは、子ども達が纏を一生懸命に力強く振る纏振りを披露し、来場者からは大きな拍手が送られました。

その後、表彰式で消防団功労者表彰が行われ、訓示では越善村長が「消防団員は、今一度新たな決意を持って、防火思想の啓蒙と、日頃の訓練に努め、団長を中心として、尚一層精進されるよう願っている」と述べました。



現況報告を行う上路団長

今年度も、東通村の無火災・無災害を目指すとともに、私たち一人一人が、火の取扱いなどには十分に注意し、生活しましょう。



※写真上段（左）から：「迅速・正確なポンプ操法を行う消防団員」、「放水演習」、「一生懸命に纏振りを披露した幼年消防クラブ」  
写真下段（左）から：「勇壮な纏振り演技」、「整然とした分列行進」